

丹後市民局

# ルックルック!

NEWS  
R2.8月号



丹後市民局NEWSバックナンバーはこちら

8月10日は山の日です! 山の日には「山に親しむ機会を得て、山に感謝する」という意味があります。丹後町には関西百名山の依遅ヶ尾山(標高540m)があり、昔から地域の皆さんに親しまれています。写真は、依遅ヶ尾山の山頂から見た経ヶ岬方面の眺望です。

丹後町内の元気やおめでたい情報をお届けする

## Tango 元気 news

丹後町な場所 \* 丹後町此代バス停付近のお花畑 \*



今回の丹後町な場所は丹後町此代バス停付近のお花畑です。井上理沙さんが推薦してくれました。「あの案山子の佇まいが理想(笑)」と理沙さん。私も宇川加工所に向かう時いつも作業されているのを見させていただいて、今年はどうな感じに出来上がるのだろうかと楽しみにしていました。素敵な空間が出来上がっています!

(地域おこし協力隊 大木史帆)

トレーニングが趣味の地域づくり支援員吉岡秀真が「丹後町らしい」体操を紹介するコーナー!

## たんご健康体操

### 第4回「いちがおの型」

今回は山の日になんで登山にも役立つ体操です! 有酸素運動にもなり、足腰の強化やダイエットにも効果が期待できます。

テレビを見ながらできるので是非チャレンジしてみ下さい! まずは5分から始め、徐々に時間を伸ばしましょう。ダイエットの方は15分以上を目標に。

依遅ヶ尾山の頂からは素晴らしい景色が広がっていますので登山にも挑戦してみてください!

(地域づくり支援員 吉岡秀真)



10~30cm程度の踏み台か、階段の1段目を利用します。背筋を伸ばし、肘を曲げた状態からスタートです。

- ① 左足を台の上に乗せます。
- ② その状態から右足を台に乗せ、台の上立ちます。
- ③ 左足→右足と後ろに下げ台から降ります。
- ④ 次は右足から台に乗せ、②③と繰り返します。交互に行ってください。

※足腰に不安のある方は手すりなどに掴まり安全に行ってください。

### 掲載団体や話題を大募集!

スポーツ、文化芸術、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市市長公室丹後市民局 (Tel.0772-69-0714)

※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

### 丹後町の人口

	R2.6月末	前月比
0~14歳	442	△2
15~64歳	2,400	△8
65歳~	2,164	△7
計	5,006	△17

# 丹後町な人、丹後町な場所



今回の丹後町な人は 井上理沙さんです。理沙さんは7年前、上山の人達から学びたいと思う縁があり、滋賀県から宇川の上山に夫婦で移住されました。昨年一緒に宇川加工所に入ったのがきっかけで良く話すようになり、家にも遊びに行かせていただいています。理沙さんの家は築約100年の古民家で、お邪魔するといつも懐かしさを感じます。井上夫妻は、春から秋は無農薬で田んぼを、冬は炭焼きをされています。また理沙さんは自分で研究し本格的に草木染もされています。普段聞かないこでの暮らしについて改めてお話しを聞いてきました。

## 丹後町な人

\* 井上理沙さん \*

## 地域に元気を！間人で320発の打ち上げ花火

7月25日(土)、間人漁港で花火が打ち上げられました。この取り組みは間人区が企画したもので、新型コロナウイルス感染症の影響を受け間人みなと祭が中止になる中、地域の方々の少しでも元気づけられないかという想いから発案され行われたものです。



間人漁港で打ち上げられた花火。約320発が夜空を彩りました。写真提供：吉岡勇さん

吉岡和信間人区長は、従来のみならず祭から形を変え、花火大会として実施した。間人はすり鉢の地形だから花火の音が良く響き迫力がある。花火を見て、皆さんが少しでも元気になるだけできれば嬉しい。」と話されていました。

声が開こえました。家の中を覗くと、理沙さんは旦那さんのズボンを手縫いで直しているところ。レシートなくほっこりする風景だなと思いました。

上山での暮らしはどうかと聞くとも理想に近い暮らしが出来てくるよ。」と理沙さん。移住した時は自分たちの暮らしで精一杯だったようですが、春から娘さんが保育所に通うようになり、自分の時間も増えたようです。また、昨年宇川加工所に入りましたが、代表の山口さんが子供背負って参加してもいいんだよと誘ってくれたのがとても嬉しく、子供と一緒にながら働ける環境は有難いと思つたのがきっかけだったそうです。

理沙さんの実家は滋賀県の市街地に近い場所にあります。都市部で育った理沙さんが何故今の暮らしを希望されたのか聞くと、お爺さんの家が少し田舎で古民家に生まれおこし協力隊



## マスクでも笑顔忘れず

間人区事務所の窓に素敵なメッセージとイラストが掲示されています。この取り組みは丹後町婦人会が企画されたもので、田中会長は「コロナで子どもも大人も疲れているが、マスクの中は笑顔を忘れず、みんなで乗り越えようという想いを込めて作りました。」と話されていました。



中央に「コロナにまけない！マスクの中はスマイル」とメッセージがあり、左右には海の生物など夏の間人を想わせる爽やかなイラストが描かれています。季節ごとに内容を替えていく計画もあるようです。



びに行っていたようです。そこで過ごした時間が理沙さんにとって心地いいものだったのかもしれない。小さい頃に体験した田舎での生活が、今の彼女の暮らしにつながっているのかもしれない。

田舎で暮らしてよかったことを聞くと、周りに知らない人が少ないのがいい。身近に植物、虫が生きていることに安心する。美味しい水、美味しい空気、豊かな土で育つ植物も人間も気持ちいいのだと思う。あと、ここで暮らしているとあまり自分を偽らずに人と話ができる。年齢が若かったのもあるかもしれないけど、昔は自分が思っていることを他の人は思っていないように感じて孤独だった、心の底から思っていることを話さなかったけど、それはただの思い込みだったと笑う理沙さん。

## 大学生と共同企画

豊栄まちづくり委員会と佛教大学はオンラインで定期的に話し合いを行っています。8月23日には豊栄地区公民館と連携しアートルーム教室を計画されているようです。



## 宇川あゆ網漁が解禁

7月19日(日)、宇川であゆの網漁が解禁になりました。季節ごとの内容も変わります。

その感覚は私も同じでした。私は丹後に帰ってくる前、田舎でしか味わえない人と人が心からつながっている生活を望んでいて、またその感覚を都市部に住んでいる人にも味わってほしいと思っていました。生活環境が変わるだけで、考え方、時間の使い方、目に見るものが違ってきます。一人一人が丁寧な暮らしをすることで、田舎の良さを次世代に引き継いでいけるのではないかと感じました。

話は脱線し長々話していると娘さんの迎えるの時間になり、送迎バスが上山まで来てくれるとのこと。そこで歩いていきました。先生に親子でバイバイをし、今日何してきたのかと会話をしながら、畑で食用ほおずきを採って食べ、家に帰りました。家までの短い道のりでの出来事で普通の光景なのかもしれないけれど、私にとっては自分が子供の頃の生活と似ているので、どこか懐かしさを感じました。理沙さんお話しありがとうございます！今日は旦那さんに仕事で会えませんが、また遊びにいきますね。



道漁料など詳しくは上宇川漁業協同組合、電話0772-76-0648

話し合いの結果が具体的な形になってきています。